

【小川自治会自主防災隊】

下小川支隊通信

2025年度 第2号 (通巻第23号)

発行日 2026年 2月1日

制作 下小川支隊 支隊長会



小川一丁目ツツジ公園に「スタンドパイプ消火資機材」を新設

(1) 概要

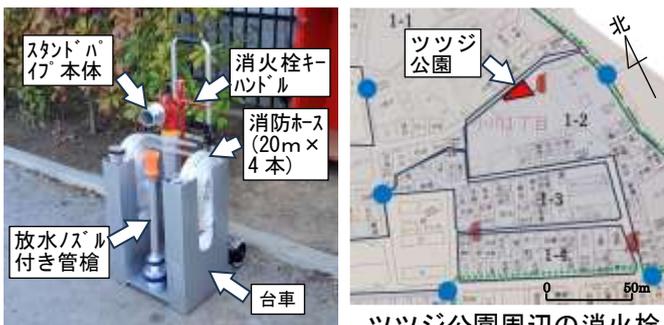
スタンドパイプ消火資機材は、震災等において、消防機関が直ぐに来られない時に、路上消火栓を使用して我々自治会員自らが消火活動に当たるためのものです。当支隊の保有台数は、これまで下小川公園の1台のみでしたが、当支隊所属の下小川1支部内のJR横浜線近くの地区は、下小川公園からの距離がある（最大約400m）とともに坂が多く、対応が容易ではないことが懸念されてきました。また、同地区では、近年、宅地開発により戸建て住宅軒数が増加しています。

このため、当支隊長会では、昨年度、同地区の「小川一丁目ツツジ公園」（2023年度末に市が新設）にスタンドパイプ消火資機材を新たに設置することを計画し、防災隊本郡で承認されました。これに従って、今年度、町田市への設置申請手続きと資機材の購入・設置作業を進め、昨年12月に設置を完了しました。

設置の様子、資機材構成等を以下に示します。



ツツジ公園のスタンドパイプ設置の様子



消火資機材構成の内訳

ツツジ公園周辺の消火栓マンホール位置(●印)

(2) 消火資機材構成の内訳

消火資機材構成の内訳は、写真のとおり、下小川公園既設のものと同様です。このうち消防ホースについては、次年度さらに本数を増やし、最大延長距離を100m以上に伸ばす予定です。なお、安全面により、格納箱は普段はダイヤル式南京錠で施錠しています{番号は下小川公園と同じ。防災班長（自治会班長）等、防災隊責任者に問い合わせください}。

(3) 自治会員の訓練の必要性と訓練予定

スタンドパイプ消火資機材の組立て・操作は、最低3名が連携して行う必要があります。火災はいつどこで発生するのか分かりませんので、迅速な対応のためには、支隊責任者のみならず、できるだけ多くの自治会員が、これらの組立て・操作方法を習得しておくことが重要です。

このため、毎年度、全支隊で、それぞれ路上消火栓を使用しての組立て・放水訓練を行っているとともに、総合防災訓練において、実演を交えた取り扱い方の習得訓練を行っています。

これらの訓練は次年度も予定していますので、特に、これまで訓練に参加されていない方は、是非参加をお願いします。

<事前告知> 「第2回安否確認旗出し訓練」を3月15日(日)午前実施



年度計画に従い、今年度2回目の「安否確認旗出し訓練」を3月15日(日)9:30~11:00に実施します。詳細は、「防災隊便り」で別途お知らせしますが、実施要領は従来通りを予定しており、当日9:30に震度6クラスの地震発災の想定のもと、安否確認後、直ちに「無事です」の旗を玄関、門扉等に掲げてください。

最近、当支隊の旗出し率は7割を下回るなど低下傾向にあります。訓練の重要性を改めて認識いただき、参加をよろしく願いいたします。

以上